

平成20年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校6年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
						算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)	数量関係 4年	D(2)ア 四則混合の式	式の計算の順序について理解していること。				○	○	
②		(2)	数と計算 5年	A(3)ウ 小数の乗法の計算	(小数)×(小数)の計算ができること。			○		○	
③		(3)	数と計算 6年	A(2)ア 同分母分数の減法の計算と約分	同分母分数の減法の計算と約分を理解していること。				○	○	
④		(4)	数と計算 6年	A(2)ウ 異分母分数の加法の計算	異分母分数の加法を，通分して計算ができること。			○		○	
⑤	2	(1)	数と計算 6年	A(2)イ 異分母分数の大小	分母の違う分数の大小について，通分して比べることができること。			○		○	
⑥		(2)	数と計算 6年	A(1)ア 公約数	公約数の意味を理解していること。				○	○	
⑦	3		量と測定 5年	B(1)ア 三角形・台形の面積	基本的な図形の面積の求め方を用いて，四角形の面積の求め方を考えることができること。		○				○
⑧	4	(1)	数と計算 6年	A(4)ア 概数による見積もり	買い物の値段を概数を使って見積もることができること。			○			○
⑨		(2)	数量関係 5年	D(2) 百分率・割合	値下げした分を計算し，百分率や割合で表そうとすること。	○					○
⑩	5	(1)	数量関係 6年	D(3) 平均	大豆の収穫量の平均を求めることができること。			○		○	
⑪		(2)	量と測定 6年	B(3)ア 単位量あたりの考え	単位量あたりの考えを用いて，1㎡あたりの収穫量を考えることができること。		○			○	
⑫		(3)	数量関係 5年	D(2)(3) 円グラフ・帯グラフ	円グラフに表された特徴をよみとり，分かったことを記述しようとする事。	○					○
⑬	6	(1)	数と計算 6年	A(2)イ 分数の相等と大小	等分してできる部分の大きさと分数での表し方を理解していること。				○	○	
⑭		(2)	数と計算 6年	A(2)イ 分数の相等と大小	異分母の単位分数を使って，和が1になる分数を考えることができること。		○			○	
⑮	7	(1)	図形 5年	C(1)エ 円の面積	円周率を使って，半円の面積を計算することができること。			○			○
⑯		(2)	図形 5年	B(1)イ 円の面積	円周率を使って，半円を組み合わせた面積を考えることができること。		○				○
⑰	8	(1)	量と測定 6年	B(3)イ 速さ	(速さ)=(道のり)÷(時間)の関係から速さを求めることができること。			○		○	
⑱		(2)	量と測定 6年	B(3)イ 速さ	(時間)=(道のり)÷(速さ)の関係を使って，立ち話をした時間を考えることができること。		○				○
⑲	9	(1)	数と計算 6年	A(1)ア 公倍数	最小公倍数を用いて，正方形の一辺の長さを考えることができること。		○				○
⑳		(2)	数と計算 6年	A(1)ア 公倍数	正方形をつくるために必要な枚数を求めることができること。			○			○